

取付設置説明書

スリム型 レンジフード 壁掛け設置型

品 名 コ ー ド

60cm幅	75cm幅	90cm幅
NFG6S21M NFG6S22M NFG6S23M	NFG7S21M NFG7S22M NFG7S23M	NFG9S21M NFG9S22M NFG9S23M

誤った機器の設置を行った場合の危害・損害の程度を、次のように区分しています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が軽傷を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	使用者が安全に快適に使用していただくために理解していただきたい内容です。



警告・注意



禁止



必ず守る



分解禁止



アースする



ぬれ手禁止



水ぬれ禁止

設置される方へ（この『取付設置説明書』を設置前に必ずお読みください。）

◎設置前に「取付設置説明書」の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。

（この取付設置説明書に記載されていない方法で設置され、それが原因で故障が生じた場合は、商品の保証を致しかねますので注意してください。）

◎本製品は、一般家庭用です。業務用としては設置しないでください。

◎製品の移動や設置時は、万一のケガ防止のため手袋をして作業を行ってください。

◎設置が終わりましたら、**（設置後の点検確認）**のチェックリスト（22ページ参照）に基づいて、必ず再確認してください。



必ず守る

この「取付設置説明書」に従い、有資格者による正しい工事を行う

配線工事・・・コンセント設置など

管工事・・・排気ダクト配管、レンジフードからの排気ダクト接続など



警告



必ず守る

排気工事などは、建築基準法、市・町・村の条例、消防法などの関連法律に準じて行う



必ず守る

電気配線工事は電気設備技術基準や、内線規定に準じて行う

配線工事は電気工事士の資格が必要です。



必ず守る

設置後は別添の「取扱説明書」に従い、安全上のご注意と使いかたをお客さまに説明する

誤った使用をされた場合、重大な事故の原因になります。

1. 別添の『取扱説明書』に従い、使用上の注意事項・正しい使用方法を説明してください。
2. 付属の所有者票の【販売事業者 記入欄】に必要事項を記入し、お客さま（消費者、賃貸業者など）に渡してください。
所有者票の登録を行うようお願いしてください。
3. 保証書（『取扱説明書』に記載）に必要事項を記入の上、この『取付設置説明書』とともにお客さまに渡していただき、保管をお願いしてください。
4. この機器は国内専用です。海外では設置できません。



59270120

ケK01-02

もくじ

安全上のご注意	1~2	電気工事について	10
開こん	3	取付設置手順	11~22
各部のなまえ	4	設置後の点検確認	22
外形寸法図	5	試運転	22~23
取付設置前に	6~9		

安全上のご注意(必ずお守りください)

⚠ 警告



分解禁止

修理技術者以外の方は、絶対に分解・修理は行わない

発火したり、異常動作してけがをすることがあります。



必ず守る

排気工事を行う場合、建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って、取付設置する

火災などの原因となります。



必ず守る

電源プラグは、刃および刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭く

火災の原因になります。



必ず守る

電源プラグは根本まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。



必ず守る

電源コードは本体や排気エルボ、排気ダクトと離して固定する

火災などの重大な事故の原因となります。

詳しくはもよりの消防署に問い合わせてください。



必ず守る

レンジフード本体と排気ダクトは、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃物を使用して可燃物を覆う

火災などの原因となります。

詳しくはもよりの消防署に問い合わせてください。



禁止

レンジフードの壁への埋め込みはしない

漏電した場合、発火による火災の原因になります。



必ず守る

メタルラス張り、ワイヤラス張り、または、金属板張りの木造の建築物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないように取り付ける

漏電した場合、火災の原因になります。



アースする

アースを確実に取り付ける

故障や漏電のときに感電するおそれがあります。



禁止

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

感電・ショート・発火の原因になります。



禁止

延長コードは使わない

発火による火災の原因になります。



水ぬれ禁止

水をかけたりしない

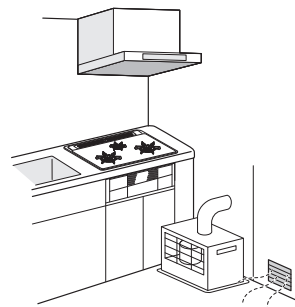
発火による火災の原因になります。



必ず守る

自然排気型のストーブを設置されている場合は、レンジフード使用時にストーブの排気口から逆流しないよう、空気の入口に配慮する

排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因になります。



⚠ 警告



禁止

コンセントや配線器具の定格を超える接続はしない

たこ足配線などで定格を超えて発熱し、火災の原因になります。



禁止

電源コードをキズつけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、高温部に近づけたり、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりしない

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



禁止

交流100V以外では使用しない

火災・感電の原因となります。

⚠ 注意



必ず守る

十分強度のあるところで確実に固定する
強度不足の場合は補強する

落下によりけがなどの原因になります。



必ず守る

部品の取り付けは確実にを行う

落下によりけがなどの原因になります。



必ず守る

部品の取り付けは両手で行う

落下によりけがなどの原因になります。



必ず守る

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く

感電やショートして発火することがあります。



禁止

コンロ上以外では使用しない

故障の原因になります。



必ず守る

取付設置のときは、厚手の手袋を使用する

金属部品などの切り口・本体の突起・角などでけがの原因になります。



必ず守る

製品を固定するネジは付属品を使用する

落下によりけがなどの原因になります。



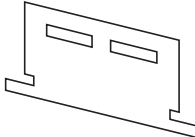
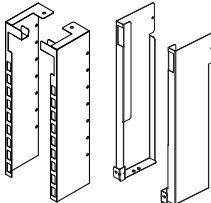
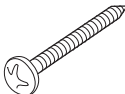
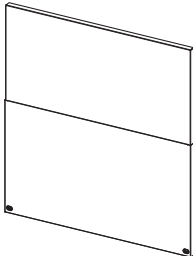
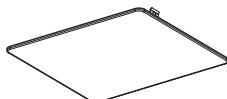
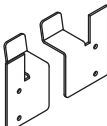
必ず守る

配線工事は、電気設備技術基準や内線規程に従って、確実にを行う

開こん

付属品の確認

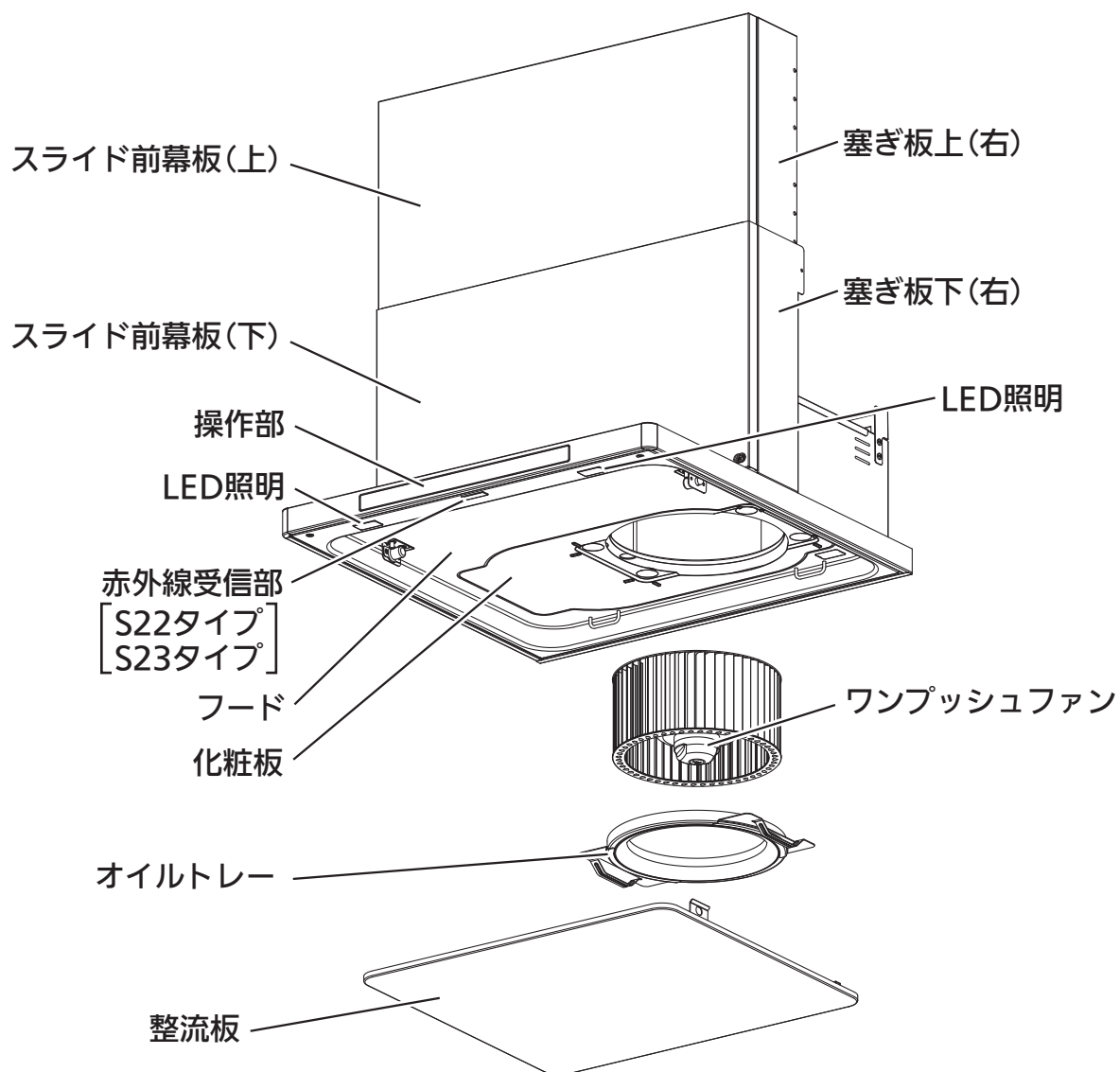
・次の付属品が同こんされています。不足のないことを確認してください。

部 品 名		形 状	個数	部 品 名		形 状	個数	
梱包天部	型紙セット (取付金具付)			1	梱包両側面	塞ぎ板上 (左) 塞ぎ板上 (右) 塞ぎ板下 (左) 塞ぎ板下 (右)		各 1
	ネジセット	丸木ネジ (5 × 45) 【本体固定用】		10		梱包内部	スライド前幕板	
		タップタイトネジ (M4 × 14) 【排気口具用】		8				
		丸木ネジ (3.8 × 12) 【塞ぎ板上・下用】		6	整流板			1
		タップタイトネジ (M4 × 8) 【スライド前幕板・塞ぎ板下用】		8				
	排気口具			1	梱包天部	隙間テープ 【塞ぎ板上用】 (左・右兼用)		1
	オイルトレイ			1		取扱説明書 (保証書付)		1
	引っかけ金具 (左・右) 【スライド前幕板用】			各 1		取付設置説明書		1
						所有者票		1
						個人情報保護シール		1

各部のなまえ

※イラストは、左排気仕様で説明しています。

右排気仕様で使用する場合は、化粧板の開口、ファンの位置が左右逆になります。



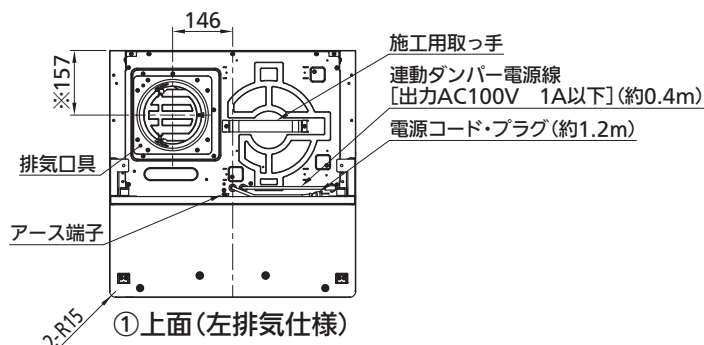
お願い

- ・塗装部分やステンレス部分(ステンレスタイプ)などに直接さわると、指紋がつくことがあります。施工の際は、手袋を着用してください。

外形寸法図

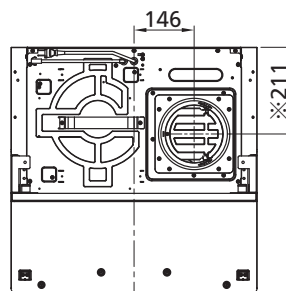
<単位：mm>

[左排気仕様]

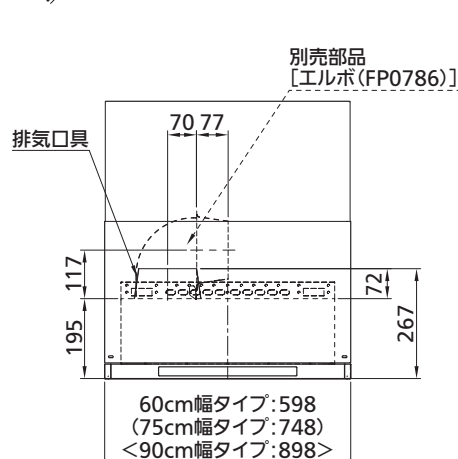


①上面(左排気仕様)

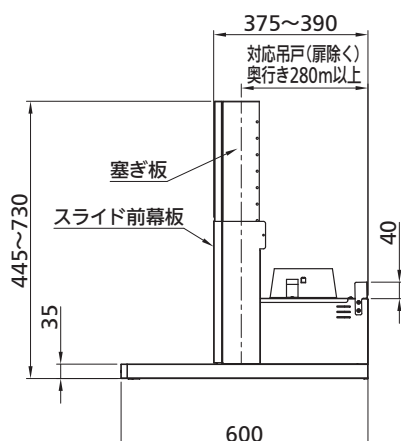
[右排気仕様]…右排気仕様への変更は、11～13ページを参照



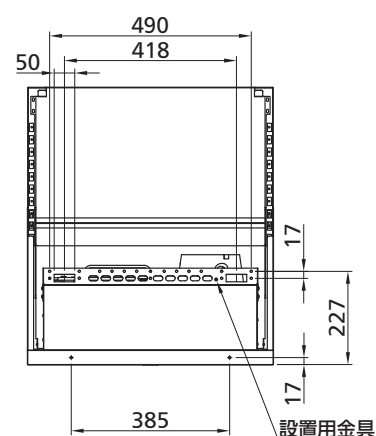
①上面(右排気仕様)



②正面(60cm幅タイプ)



③側面

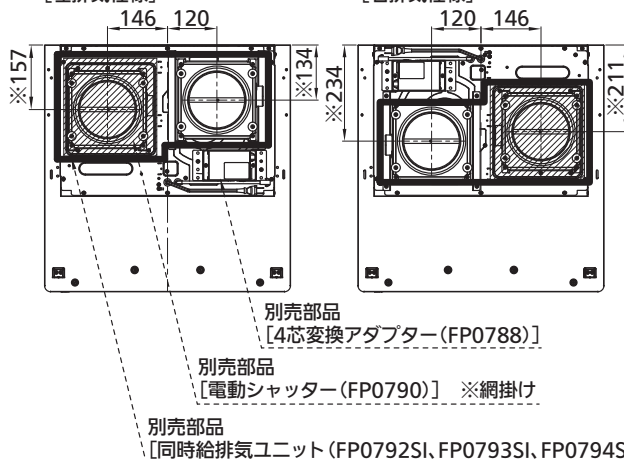


④背面

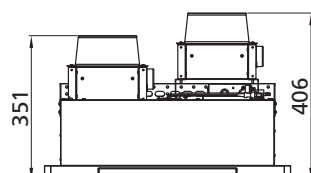
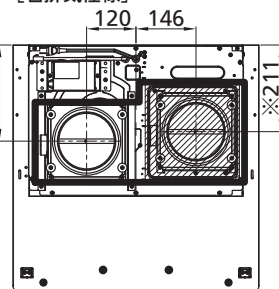
- ・上図は60cm幅タイプ
- ・スライド前幕板・塞ぎ板の高さ調整範囲: 445~730
- ・対応吊り戸奥行き: 280以上(扉除く)
- ・※寸法は、左右排気方向で異なります。
- ・() 寸法、<> 寸法は機器サイズにより異なります。

◎同時吸排気ユニット(FP0792SI、FP0793SI、FP0794SI) および、電動シャッター(FP0790)使用時

[左排気仕様]



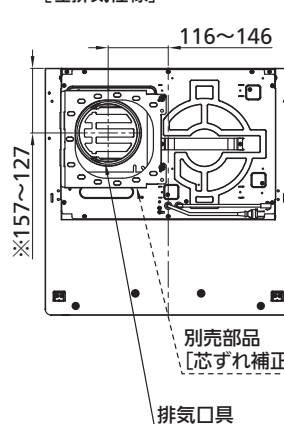
[右排気仕様]



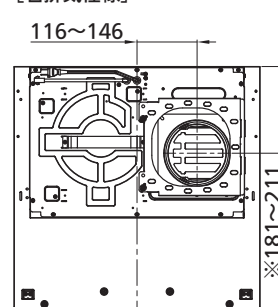
- ・上図は60cm幅タイプ
- ・※寸法は、左右排気方向で異なります。

◎芯ずれ補正アダプター(FP0791)使用時

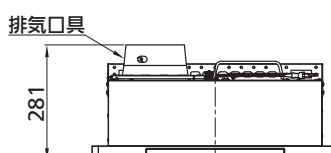
[左排気仕様]



[右排気仕様]



別売部品 [芯ずれ補正アダプター(FP0791)]



- ・上図は60cm幅タイプ
- ・※寸法は、左右排気方向で異なります。

取付設置前に

◇設置する前の確認

◎調理機器の真上80cm以上の位置に取り付ける

※調理機器が防火性能評定品(調理機器に下図ラベル貼付品)の場合は、60cm以上で設置が可能です。

※市・町・村の条例、消防法などにより規制される場合がありますので注意してください。
あまり高すぎると吸い込みが悪くなります。

防火性能評定品ラベル例

ガス機器防火性能評定品			
可燃物等からの離隔距離(cm)			
上方	側方	前方	後方
80以上	15以上	15以上	5以上
上方がレンジフードファンまたは不燃材の場合			

◎レンジフードの幅は、調理機器の幅以上のものを使用する

◎レンジフード前面が調理機器前面より後方にならないように設置する

排気性能が低下します。

◎排気ダクトで排気するときは、排気抵抗の確認をする

屋外壁面の排気口に取り付けるパイプフードやベントキャップは排気抵抗が小さいものを使用してください。

排気性能が低下します。(防鳥網(防虫網)付き、出口開口が狭いもの、ドレン返し付きなど)

◎排気抵抗が上がる配管はしない

- ・非常に長い排気ダクト配管
- ・径が細い排気ダクト(接続ダクト部など)
- ・極端に屈曲した排気ダクト配管
- ・多数回の曲げがある排気ダクト配管

排気性能が低下します。

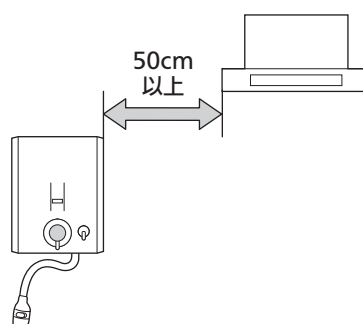
◎寒い地域では、排気ダクト内が結露し、本体内に結露した水が流れることがある

排気ダクトに断熱材を巻くなどの対応をしてください。

◎本製品の下にガス開放式湯沸器(小型湯沸器)を取り付けない

※側方に50cm以上離して取り付けてください。

ガス開放式湯沸器(小型湯沸器)の真上は、高温になるため、故障の原因となります。

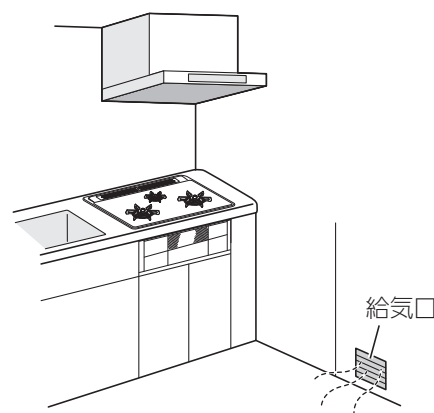


◎空気の入入口(給気口)を設ける

空気の入入口の大きさは、約240cm²以上にしてください。

給気が不足すると、排気性能が低下したり、レンジフードに異音・振動が発生する原因になります。

とびらが開きにくくなったり、すきま風の音が大きくなるなどの現象が発生します。



◎排気ダクトの不燃処理をする

排気ダクトを50mm以上の不燃材料もしくは20mm以上の国土交通大臣不燃認定品の不燃材料(ロックウールなど)で遮熱処理してください。

施工要領は、各メーカーの指導書・要領書に従ってください。

◎レンジフード取付面(壁補強部)に固定用のネジが確実に届くことを確認する

- ・長さが45mmの固定用ネジが付属されています。
- ・壁下地に石膏ボードなどがある場合は、石膏ボードなどの厚さを確認して、固定用ネジが確実に取付面(壁補強部)に届くことを確認してください。
- ・レンジフードと取付面との間には不燃材を使用してください。

【換気連動システム S22・S23タイプ】

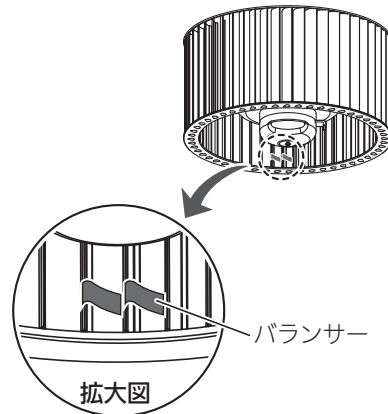
◎照明器具と機器の受信部が1m以内に設置された場合、換気連動システムが正常に動作しないことがある

◎直射日光が当たるなど、極端に明るく照らされる場所には設置しない

調理機器側からの赤外線の影響が妨げられ動作しないことがあります。

◎ファンに取り付けてある部品は絶対に外さない
ファンの回転のバランスを調整している部品です。

取り外すとバランスがくずれ、吸い込みが悪くなったり、異音、振動、故障の原因となります。



◎本体や排気ダクトが他の電気機器と接触しないように取り付ける

照明などの電気機器のノイズにより、調理機器側からの連動ができない場合があります。

◇準備をする

- 1) 養生シートなどで現場の床を保護する。
- 2) 必ず製品用のブレーカーを切る。
- 3) 必ず厚手の手袋を使用する。
- 4) アース線、アルミテープ、5×45木ネジ(追加分)は、現地で調達する。

設 置 手 順	説 明 図
1. 排気方向、排気ダクト位置の確認 外形寸法図(5ページ参照)を確認し、排気方向を確認する。 ①上方左排気 ②上方右排気 ③側方左排気 ④側方右排気 ※右側排気を使用する場合は、排気方向の変更が必要です。(11ページ参照) ※壁側の排気ダクトの位置により、別売部品のエルボ(FP0786)が必要です。	<単位：mm> ①・②上方排気(左・右) [背面からの寸法 左排気157 右排気211] 正面図 ③・④側方排気(左・右) [背面からの寸法 左排気157 右排気211] 正面図 別売部品のエルボ (FP0786) [背面からの寸法 左排気157 右排気211] 正面図
2. 壁側の排気ダクト接続について ①壁側に排気ダクト用の穴が無い場合 - 取付位置およびレンジフード本体との接続位置を決め、壁にφ160程度の穴を開ける。 - φ150パイプ(鋼板管)を埋め込みパイプ周辺をモルタルなどで埋めて仕上げる。 ②既存の排気ダクトを使用する場合 - レンジフード本体と接続位置を決め、長さが足りるか確認する。 長さが足りない場合は、別売部品[ニップル(NP150)]を使用して延長する。 ※フレキダクトを使用する場合は、もよりの消防署に問い合わせてください。	① 壁 鋼板管 ② 既存の排気ダクト 別売部品のニップル(NP150) 既存の排気ダクト 新規の排気ダクト(レンジフード本体側) 排気口具 壁 レンジフード本体 ダクト長さ足らず 排気口具

5. 設置位置の確認と設置面(壁)の下地の確認

- ・製品の設置面(壁)に補強板(棧)やボードなど、設置する強度があるか確認する。
- ・補強板(棧)やボードが無い場合は、製品ネジ固定力所(右図A部)全てに製品が固定されても十分耐える補強を行う。

	製品質量(kg)	
	S21/S22タイプ	S23タイプ
60cm幅	15.5	15
75cm幅	17	16.5
90cm幅	18	17.5

◎木質壁の場合

- ・板厚が20mm以上の場合は、直接壁に取り付ける。
- ・板厚が20mm未満の場合は、壁に補強板を埋め込むなどの補強を施し、レンジフードを取り付ける。

◎コンクリート・タイルの場合

- ・あらかじめ補強板が壁に埋め込まれているか確認し、埋め込まれていない場合は、カールプラグなどを使用し、固定する。

※レンジフード本体の取付用ネジは45mmのものが付属されています。

レンジフードの取付面の木部まで取付用木ネジが確実に届いていることを確認してください。

下地に石膏ボードなどが貼られている場合は、石膏ボードの厚さを確認し取付用木ネジが確実に木部に届くことを確認してください。

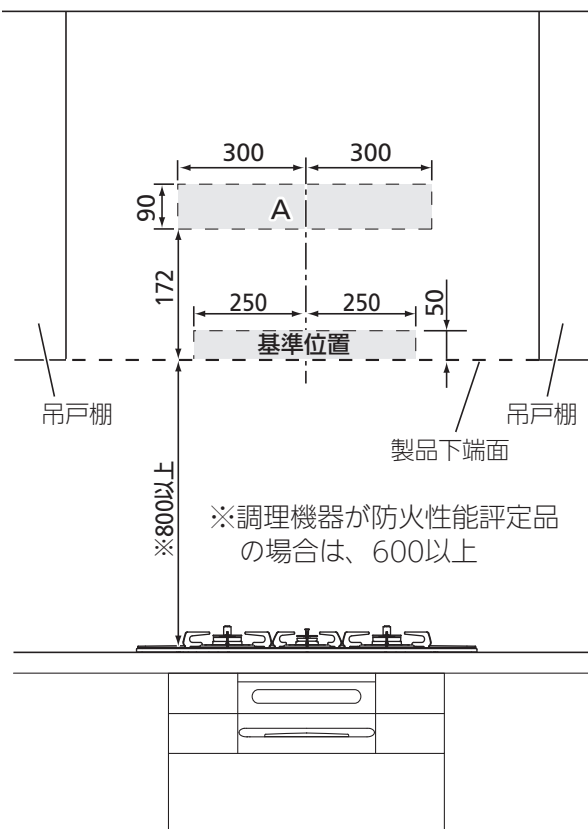
◎土壁の場合

- ・柱などに固定した補強板をあらかじめ壁に埋め込む。

本体は十分強度のあるところにしっかり取り付ける。
強度不足の場合は、補強する。

A部：製品固定ネジ位置

<単位：mm>



電気工事について

電気配線工事は、電気設備技術基準や内線規程に従って有資格者が行うこと

1. 電源仕様

⚠ 警告

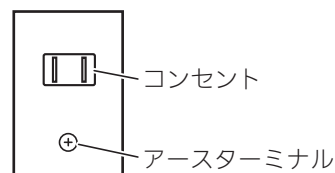


定格15A以上のコンセントを単独で使用する

他の製品と併用すると分岐コンセント部の異常発熱により発火するおそれがあります。

必ず守る

- ・本製品は100V仕様、50Hzと60Hzは共用。
- ・電源回路は100V・15A以上の専用回路を設ける。
- ・コンセントは125V・15Aのアースターミナル付埋込コンセントを設ける。



⚠ 警告



電路に漏電しゃ断器を設置する

故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

必ず守る

※主幹に漏電しゃ断器が設けてある場合は、漏電しゃ断器を新設する必要はありません。

2. アース線の取り付け

- ・アース工事を必ず行う。

⚠ 警告



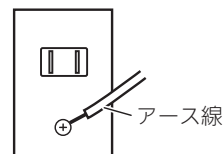
アース線を確実に取り付ける

故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

アース必要

◎アースターミナル付き埋込コンセントにアースする場合

- ・アース線を確実にアースターミナルに接続する。



◎炭素接地棒でアースする場合

- ・アース工事は必ずお買い上げの販売店または、電気工事店に依頼する。
(電気工事士の有資格者がD種接地工事をするよう法令で定められています。)
- ・ガス管・水道管・電話のアース線・避雷針のアース線には絶対に接続しない。
(法令などで禁止されています。)
- ・設置場所の変更や転居の際には、再度アースの取り付けをする。
(アース工事は有料ですが、ご了承ください。)

3. 連動ダンパーの電源について(連動ダンパー使用時のみ)

◎下記の仕様を満足する場合、レンジフードの運転と連動させて、連動ダンパーなどの開閉をおこなうことができます。

- ・連動ダンパーは現地調達品です。
- ・連動ダンパーとの配線は、別売部品[連動ダンパー中継線(FP0780)]を使用する。
※配線方法は、[連動ダンパー中継線(FP0780)]の説明書を確認してください。

連動ダンパーなどの仕様

- ・AC100Vの入力で動作し、起動時を含む負荷の電流が1A以下
- ・2芯の出力線が接続可能なもの

取付設置手順

設 置 手 順	説 明 図
1. 排気方向の変更(右排気への変更) - 出荷状態は左側排気となります。右側排気で施工する場合は、製品を設置する前に右側排気への変更作業が必要です。 ※変更作業は製品の設置前に行ってください。 1-1 フード、化粧板を外す - 梱包から製品を取り出し、製品背面を下にして置く。 ※床、製品にキズがつかないように必ず養生して作業を行ってください。 - フードの固定ネジ(左右2カ所)を緩め、フードを手前側に開いて、フードのフックを引っかけ部から取り外す。 ※ネジは外さないでください。 ※製品が倒れないように注意してください。 - 化粧板のネジ(2カ所)を緩める。 ※ネジは外さないでください。 - 化粧板のネジ(4カ所)を外し、化粧板上側にスライドさせて取り外す。 ※ネジの外し間違いに注意してください。 ※製品が倒れないように注意してください。 ⚠ 注意 ❌ 禁止 電気ドライバー、インパクトドライバーなど絶対に使用しない ネジが利かなくなり、部品の外れにつながります。	1)・2) ネジ 手前に開く ネジは外さない フード 引っかけ部 養生する フック 3)・4) 化粧板 ネジ (ネジを緩める) 化粧板上側にスライドさせる ネジ (ネジを外す)
1-2 コネクターを外す ◎S21・S22タイプの場合 - コーティングクリップから、メインハーネス、近接センサーハーネスを取り外す。 - 電源基板ケースのツイストクリップから、メインハーネスを取り外す。 - 電源基板ケースからメインハーネスの中継コネクターを取り外す。 ※コネクターの外し間違いに注意してください。 - コーティングクリップでメインハーネス、近接センサーハーネスを仮固定する。 ※仮固定する際、ハーネスが噛み込まないように、開口部の外側で結束してください。 ◎S23タイプの場合 - コーティングクリップから、メインハーネス、近接センサーハーネスを取り外す。 - 電源基板ケースのツイストクリップから、メインハーネス、近接センサーハーネスを取り外す。 - 電源基板ケースからメインハーネス、近接センサーハーネスの中継コネクターを取り外す。 ※コネクターの外し間違いに注意してください。 - コーティングクリップでメインハーネス、近接センサーハーネスを仮固定する。 ※仮固定する際、ハーネスが噛み込まないように、開口部の外側で結束してください。	◎S21・S22タイプの場合 近接センサーハーネス 電源基板ケース 1) メインハーネス コーティングクリップ 2)・3) 中継コネクター メインハーネス ツイストクリップ 4) 開口部 コーティングクリップ ◎S23タイプの場合 コーティングクリップ 電源基板ケース 1) メインハーネス 近接センサーハーネス 2)・3) 中継コネクター メインハーネス ツイストクリップ 中継コネクター 近接センサーハーネス 4) 開口部 コーティングクリップ

1-3 天板(ファンケース)を回転させる

- 1) フード側を下にして平置きにする。
- 2) 天板のネジ(10カ所)を外し、天板を本体ケースから分離させる。
※ネジの外し間違いに注意してください。

⚠ 注意



禁 止

電気ドライバー、インパクトドライバーなど絶対に使用しない
ネジが利かなくなり、部品の外れにつながります。

- 3) 取っ手を持ち、天板セットを垂直方向にゆっくり取り出す。
- 4) 天板セットを180度回転させて、本体ケースに戻す。
※ファンケースにキズがつかないように注意してください。
※ハーネスの噛み込みに注意してください。
- 5) 天板セットを本体ケースにネジ(10カ所)で固定する。
※ネジの付け忘れ、付け間違いに注意してください。

⚠ 注意



禁 止

電気ドライバー、インパクトドライバーなど絶対に使用しない
ネジが利かなくなり、部品の外れにつながります。

1-4 コネクターを接続する

- 1) 製品背面を下にして置く。

◎S21・S22タイプの場合

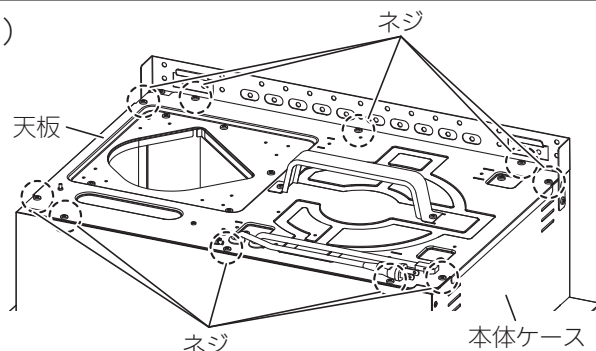
- 2) 仮固定している、メインハーネス、近接センサーハーネスをコーティングクリップから外す。
- 3) メインハーネスの中継コネクターを電源基板ケースに接続する。
- 4) メインハーネスをツイストクリップで固定する。
- 5) メインハーネス、近接センサーハーネスをコーティングクリップで固定する。

◎S23タイプの場合

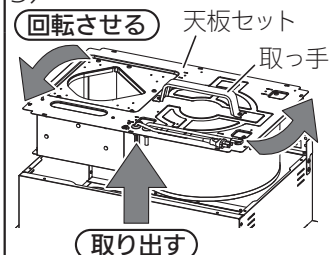
- 2) 仮固定している、メインハーネス、近接センサーハーネスをコーティングクリップから外す。
- 3) メインハーネス、近接センサーハーネスの中継コネクターを電源基板ケースに接続する。
- 4) メインハーネス、近接センサーハーネスをツイストクリップで固定する。
- 5) メインハーネス、近接センサーハーネスをコーティングクリップで固定する。

※コネクターは、ツメの向きを合わせて確実にロックしてください。
接続が不十分な場合、レンジフードが正常に動作しなかったり、発熱による故障の原因になります。

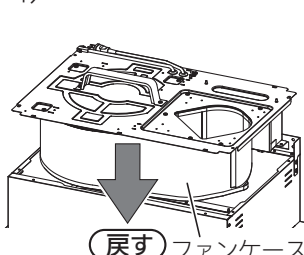
2)



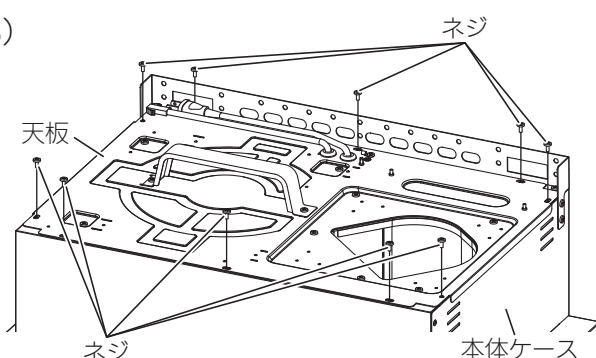
3)



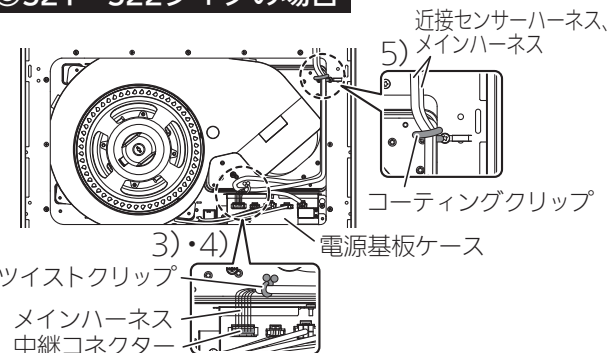
4)



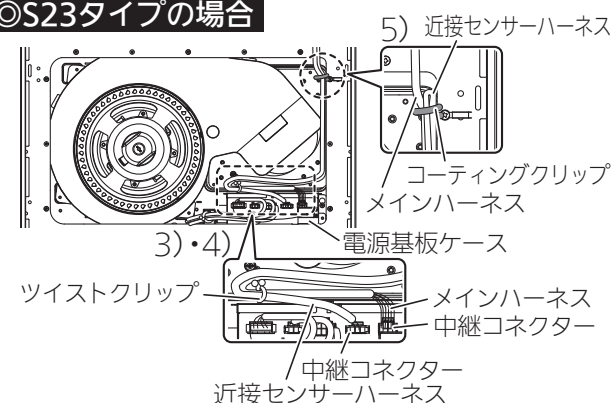
5)



◎S21・S22タイプの場合



◎S23タイプの場合



1-5 フード、化粧板を取り付ける

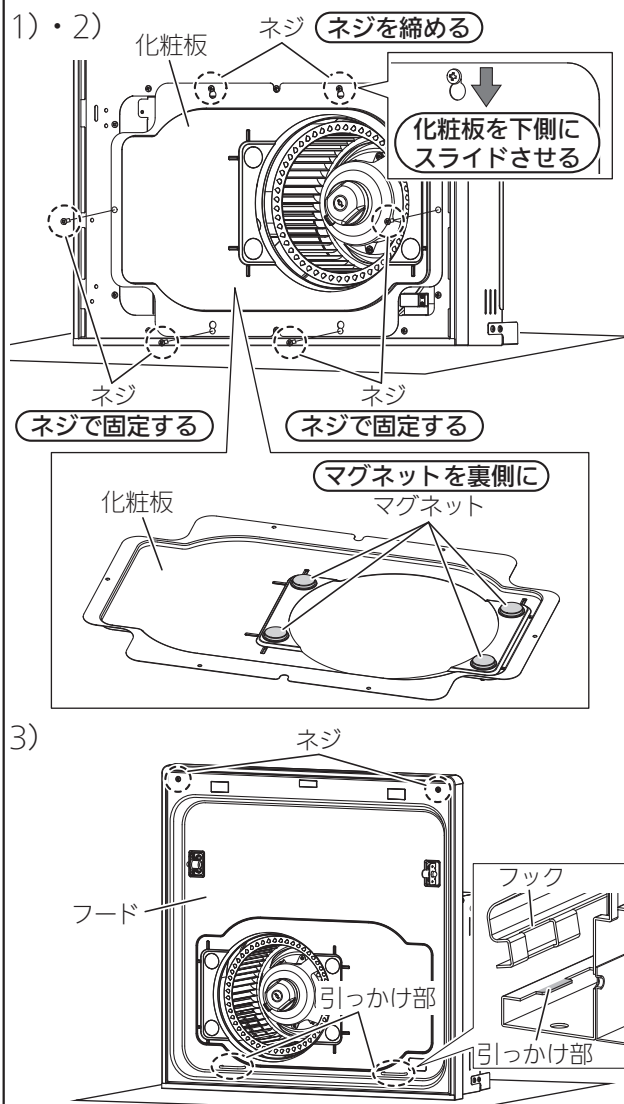
- 1) 化粧板を180度回転させ、ネジ(2カ所)に化粧板を引っ掛け、下側にスライドさせる。
※化粧板の裏・表の付け間違いに注意してください。
マグネットが取り付けられている面が裏側になります。
- 2) 化粧板のネジ(4カ所)で固定し、化粧板を引っかけているネジ(2カ所)を締め付ける。
※ネジの付け忘れに注意してください。
- 3) フードのフックを引っ掛け部に取り付け、フードの固定ネジ(左右2カ所)を締め付ける。

⚠ 注意



禁 止

電気ドライバー、インパクトドライバーなど絶対に使用しない
ネジが利かなくなり、部品の外れにつながります。



2. 施工用取っ手の位置変更

- ・別売部品のエルボ(FP0786)を右図のように使用する場合は、取っ手位置の変更が必要です。

◎左排気仕様の場合

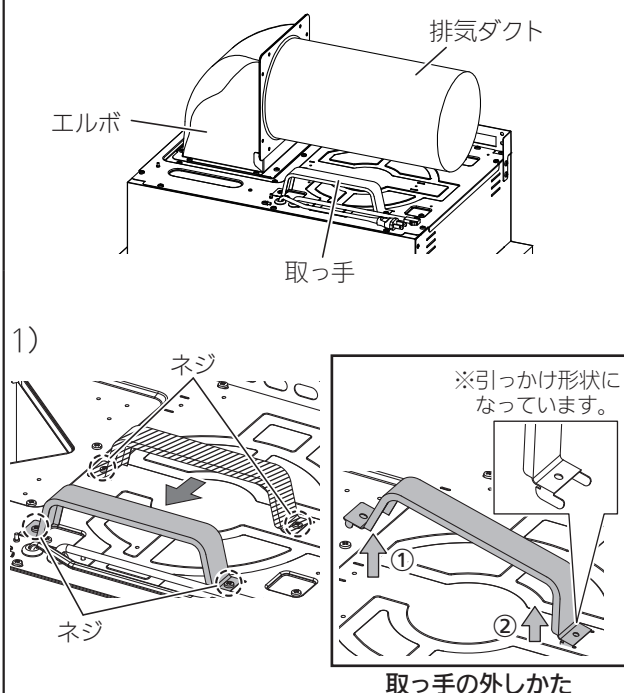
- 1) 取っ手の固定ネジ(2カ所)を外し、機器手前の穴に取っ手の引っ掛け部を差し込み、ネジ(2カ所)で固定する。

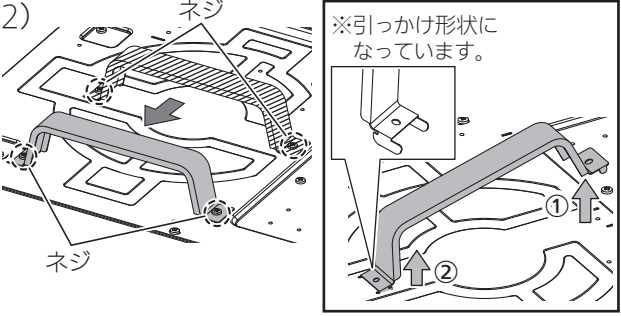
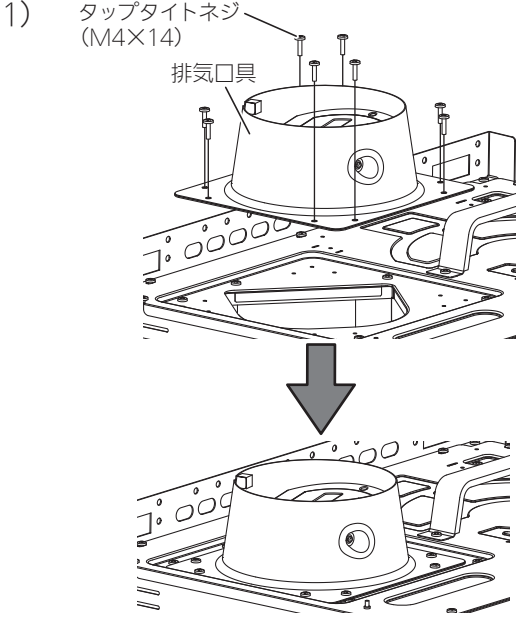
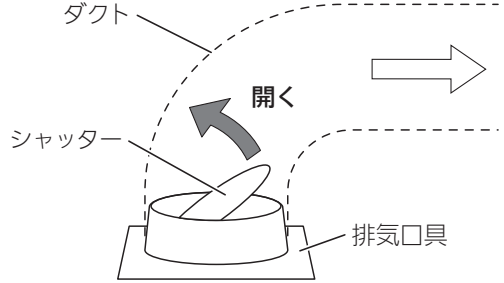
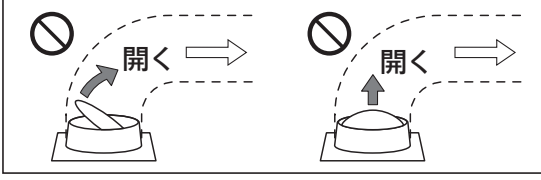
⚠ 注意



禁 止

電気ドライバー、インパクトドライバーなど絶対に使用しない
ネジが利かなくなり、部品の外れにつながります。



設 置 手 順	説 明 図
◎右排気仕様の場合 1)「1.排気方向の変更」(11ページ参照)手順に従い、排気方向を右側に変更する。 2)取っ手の固定ネジ(2カ所)を外し、機器手前の穴に取っ手の引っ掛け部を差し込み、ネジ(2カ所)で固定する。 ※排気方向を変更後に取っ手の位置を変更すること。排気方向変更作業時に天板セットを本体ケースから取り出しにくくなります。 ⚠ 注意 ❌ 禁止 電気ドライバー、インパクトドライバーなど絶対に使用しない ネジが利かなくなり、部品の外れにつながります。	2)  ※引っ掛け形状になっています。 取っ手の外しかた
3. 排気口具の取り付け 1)排気の方角と排気口具のシャッターの向きを確認して、本体排気口に排気口具を付属のタップタイトネジ(M4×14:8本)で固定する。 ※[排気口具のシャッターの向き]の位置に合わせてください。間違った向きに接続すると、排気抵抗が大きくなったり、シャッターが排気ダクトに引っかかる場合があります。 ⚠ 注意 ❌ 禁止 電気ドライバー、インパクトドライバーなど絶対に使用しない ネジが利かなくなります。	1)  タップタイトネジ (M4×14) 排気口具 [排気口具のシャッターの向き]  ダクト シャッター 開く 排気口具 接続不可なシャッターの向き 

[エルボを使用する場合]

※[エルボ(FP0786)]は別売部品のため付属
されていません。

3-1.エルボと排気口具の取り付け

1) 排気の方角と排気口具のシャッターの向きを確認
して、別売部品の[エルボ(FP0786)]と排気口具を
固定する。

※エルボと排気口具の固定は、[エルボ(FP0786)]に
付属のタップタイトネジ(M4×14：8本)を使用し
てください。

※[排気口具のシャッターの向き]の位置に合わせ
てください。間違った向きに接続すると、排気抵抗
が大きくなったり、シャッターが正しく閉まらない
場合があります。

⚠ 注意



禁 止

電気ドライバー、インパクトドライバ
ーなどを絶対に使用しない
ネジが利かなくなります。

3-2.エルボと本体の取り付け

1) 本体排気口に排気口具が付いたエルボを付属の
タップタイトネジ(M4×14：8本)で固定する。

お願い

- ・レンジフード本体を取付設置する前に、エルボ
や排気口具をレンジフード本体に取り付けてく
ださい。
設置状況により、後からエルボの取り付けがで
きない場合があります。
- ・必ずネジ8本をしっかりと固定してください。
油が漏れるおそれがあります。

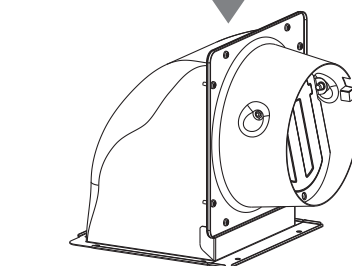
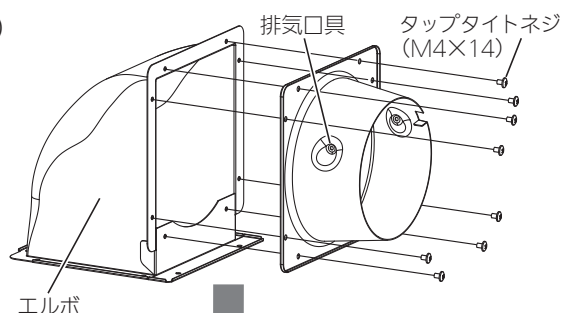
⚠ 注意



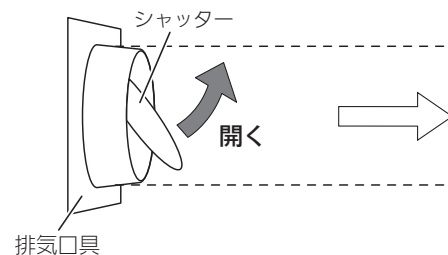
禁 止

電気ドライバー、インパクトドライバ
ーなどを絶対に使用しない
ネジが利かなくなります。

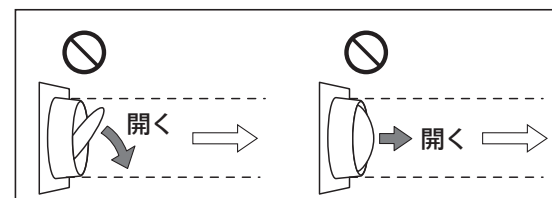
1)



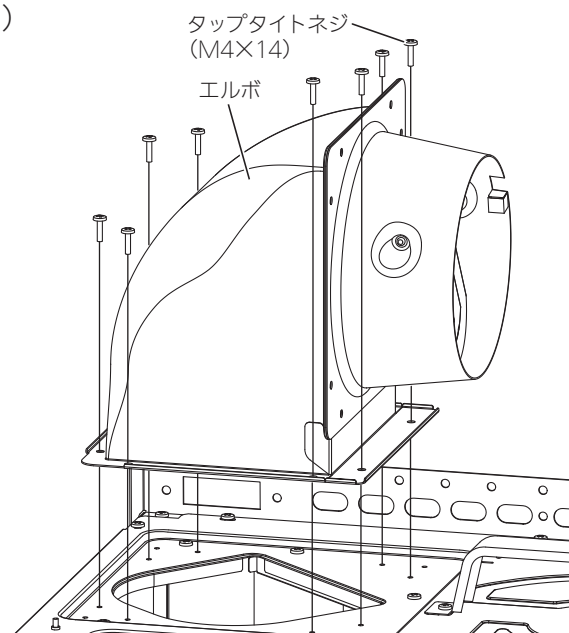
[排気口具のシャッターの向き]

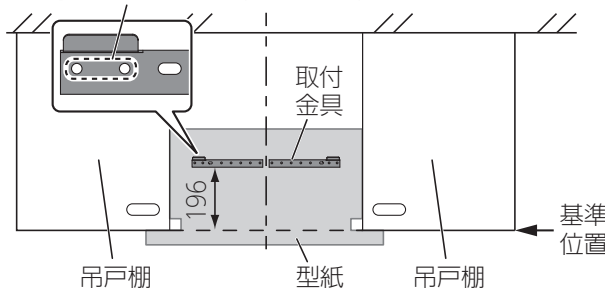
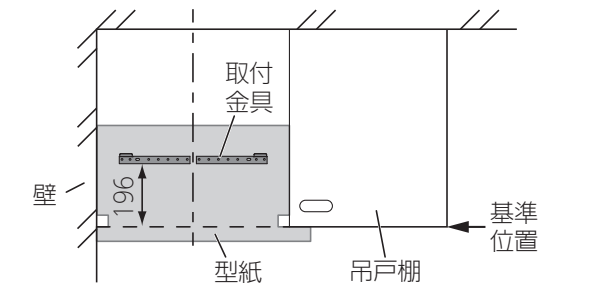
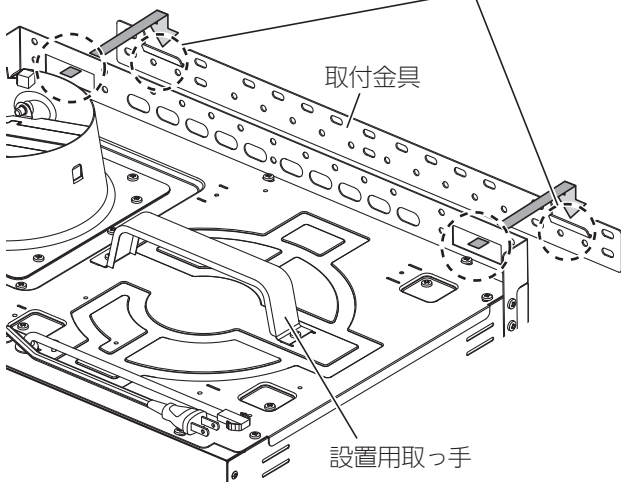
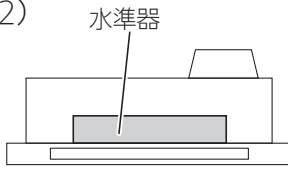
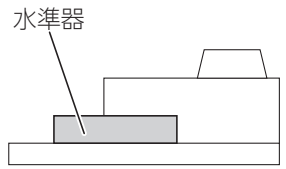
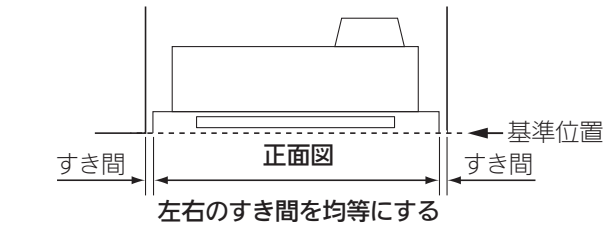


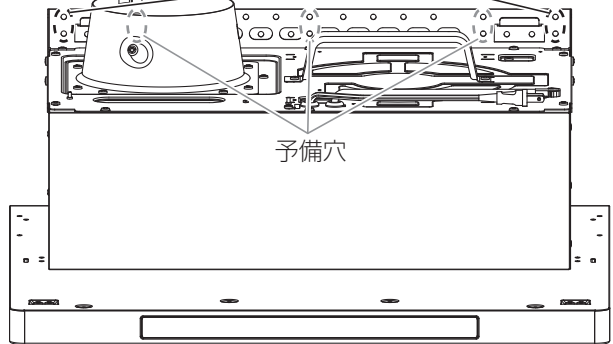
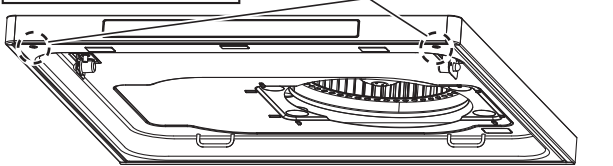
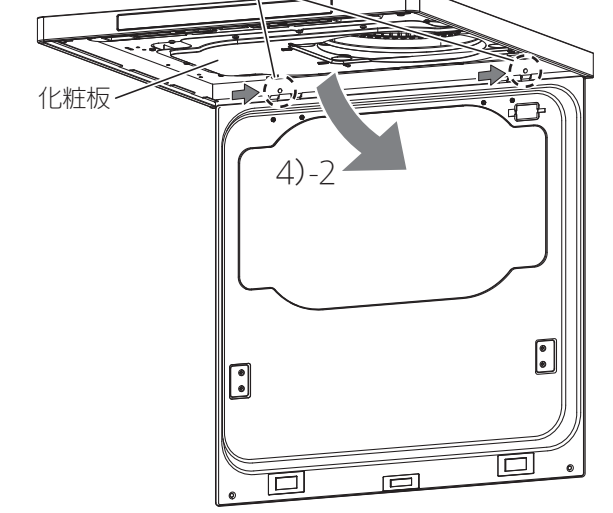
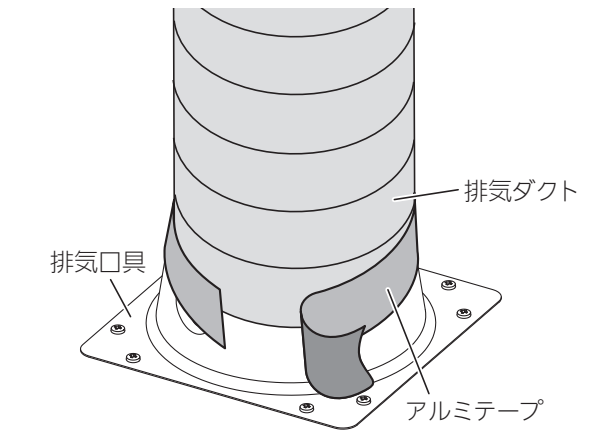
接続不可なシャッターの向き



1)



設 置 手 順	説 明 図
4. 取付金具(型紙)の固定 1) 付属の型紙セットの設置手順に従い、取付金具を付属の丸木ネジ(5×45:4本)で固定する。 取付金具の固定方法は、型紙を参照してください。	1) <単位: mm> 取付金具の固定ネジ(左右4カ所)  吊戸棚が両サイドにある場合  左右どちらかに壁がある場合
5. 機器の固定 1) 設置面(壁)の取付金具に機器を引っかける。 ※機器上部の『設置用取っ手』を持って行くと機器を引っ掛けやすくなります。 2) 機器位置の調整を行う。 ・ 機器が水平になっていることを確認する。 ⚠ 注意 必ず守る 水準器などで製品が水平になっていることを確認する <u>オイルトレイに油がたまらない原因となります。</u> ・ 機器下面が基準位置に合っていることを確認する。 ・ 隣接の吊戸棚との位置が合っていることを確認する。 ・ 左右幅のすき間の調整をする。 ※機器を取付金具に引っかけたまま左右3mm調整可能です。 機器下端が調理機器より800mm以上(調理機器が防火性能評定品の場合は、600mm以上)あることを確認してください。	1)  2)  正面図  側面図  左右のすき間を均等にする

設 置 手 順	説 明 図
3) 機器上部(4カ所)を付属の丸木ネジ(5×45：4本)で固定する。 3)-1 左右の固定位置(外側)に付属の丸木ネジ(5×45)4本で固定する。 ※左右の固定位置(外側)の壁に十分な補強がない場合は、補強のある位置を確認し、排気口具を取り外して予備穴(内側もしくは中央)に現地調達品の木ネジ(5×45)で固定してください。取り外した排気口具を取り付けてください。 4) 機器下部(2カ所)を付属の丸木ネジ(5×45：2本)で固定する。 4)-1 フードの固定ネジ(左右2カ所)を緩める。 ※フードをキズつけないようにしてください。 4)-2 フードを開く。 4)-3 機器奥側(2カ所)を付属の丸木ネジ(5×45)2本で固定する。 ※壁の補強が十分でない場合のネジ固定位置は、左右どちらかを固定してください。 ※ドライバーを使用する時は、機器をキズつけないようにしてください。 フードは元に戻さずに、開いた状態で次の工程に進んでください。 ⚠ 注意  電気ドライバー、インパクトドライバーなど絶対に使用しない ネジが利かなくなります。	3) 機器上部の固定 機器上部(4カ所)固定位置  4)-1 機器下部の固定 フードの固定ネジ(2カ所)  4)-3 機器奥側(2カ所)固定位置 
6. 排気ダクトの取り付け 1) 排気ダクトを排気口具に接続する。 奥まで差し込まれていることを確認してください。 2) 排気ダクトと排気口具をアルミテープなどで固定する。 • すき間なく、確実にテーピングして固定する。 • ニップルや鋼管などで延長した場合は、接続部すべてに、すき間なく確実にテーピングして固定する。 ⚠ 注意  確実にテーピングして固定する 排気漏れや油漏れの原因となります。 必ず守る ※アルミテープは現地調達品です。	2) 

7. アース・コンセントの接続

- 1) アース線を機器本体上面に取り付けのアース端子に接続する。その際、アース端子をしっかりとかしめてアース線が抜けないことを確認する。
 - 2) アース線をアースターミナルに接続する。
 - 3) 交流100Vであることを確認してから、コンセントに電源プラグを確実に差し込む。
- ※アース線は現地調達品です。

⚠ 警告



必ず守る

電源コードは本体や排気エルボ、排気ダクトと離して固定する

火災などの重大な事故の原因となります。
詳しくはもよりの消防署に問い合わせてください。



禁止

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない
感電・ショート・発火の原因になります。



禁止

延長コードは使わない
発火による火災の原因になります。

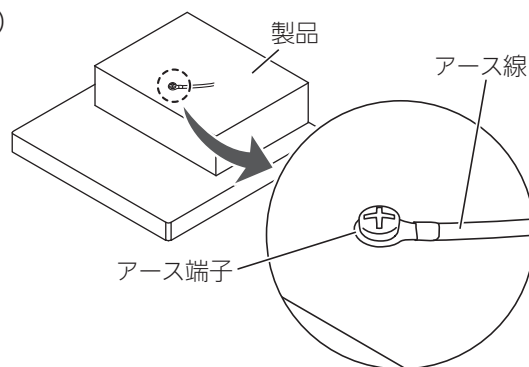


禁止

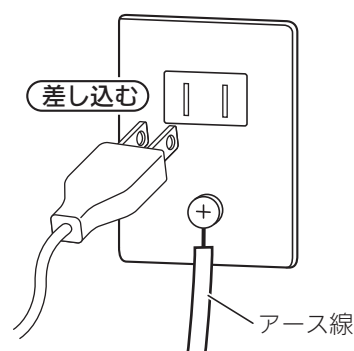
コンセントや配線器具の定格を超える接続はしない

たこ足配線などで定格を超えて発熱し、火災の原因になります。

1)



2)・3)



8. 前幕板の固定

⚠ 注意



必ず守る

ステンレスタイプには、保護シートが貼り付けてあるため、ていねいにはがす
無理に引っ張ると変形やけがなどの原因となります。

■スライド前幕板と吊戸棚前面との面合わせについて

- ・吊戸棚奥行寸法Aが390～375mmの場合

※スライド前幕板と吊戸棚前面が合います。

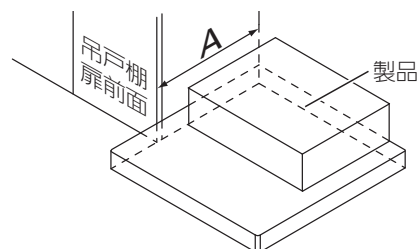
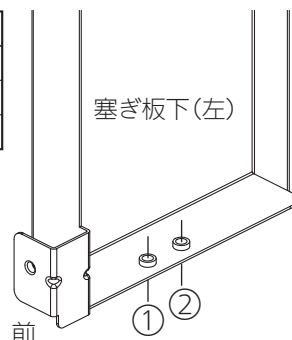
- ・吊戸棚奥行寸法Aが375mm未満の場合

※スライド前幕板と吊戸棚前面が合いません。

※スライド前幕板(製品)が手前に出ます。

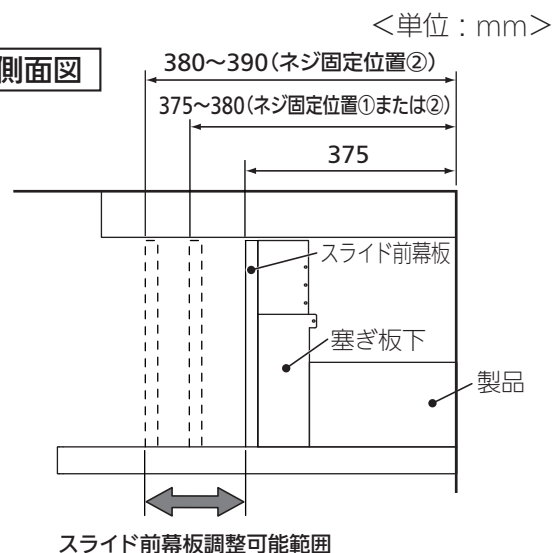
- 1) 塞ぎ板下のネジ固定位置①、②を選択する。
※塞ぎ板のネジ固定位置を変えることでスライド前幕板の前後の調整ができます。

ネジ固定位置	奥行寸法A
①または②	375mm未満
	375-380mm
②	380-390mm



1)

側面図



■設置高さについて

付属のスライド前幕板は

H=445~730mmに対応。

H=730~900mmの場合、別売の[長尺スライド前幕板]が必要。

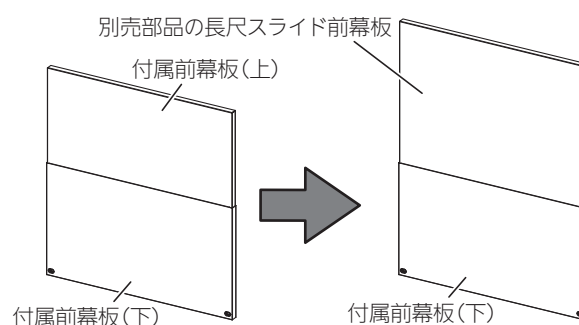
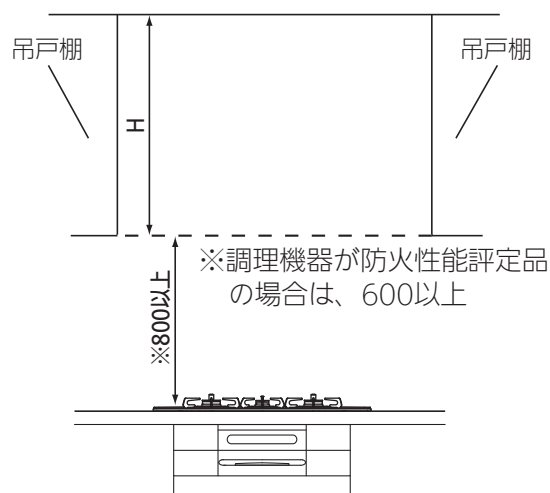
- ・付属の塞ぎ板(上)・スライド前幕板(上)を取り外し、別売部品の[長尺スライド前幕板]の塞ぎ板(上)・スライド前幕板(上)に付け替えて対応。

別売部品名	機器サイズ	カラー	品名コード
長尺スライド前幕板	60cm 幅	ブラック	FP0781BA
		シルバー	FP0781SI
		ホワイト	FP0781WH
		ステンレス	FP0781ST
	75cm 幅	ブラック	FP0782BA
		シルバー	FP0782SI
		ホワイト	FP0782WH
		ステンレス	FP0782ST
	90cm 幅	ブラック	FP0787BA
		シルバー	FP0787SI
		ホワイト	FP0787WH
		ステンレス	FP0787ST

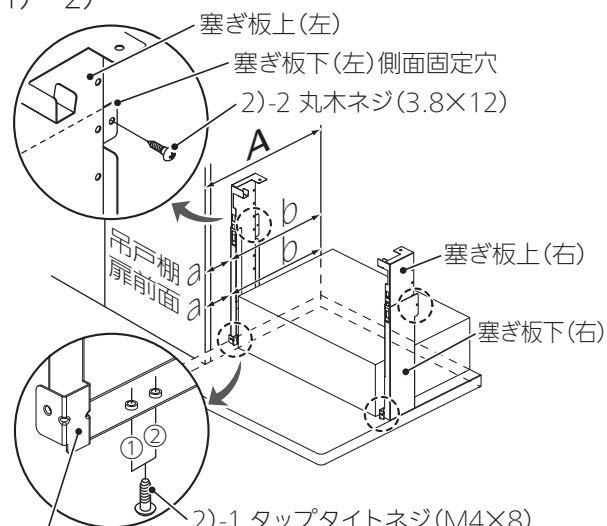
8-1. 塞ぎ板の固定

- 1) 塞ぎ板上(左・右)を塞ぎ板下に差し込む。
- 2) 付属の塞ぎ板下(左・右)をaまたは、b寸法上下2カ所の同じ寸法位置に固定する。
※下表の[aまたはb寸法目安]を参考
- 2)-1 付属のタップタイトネジ(M4×8)で製品に固定する。(左右各1カ所)
- 2)-2 付属の丸木ネジ(3.8×12)で側面のキャビネットや壁に固定する。(左右各1カ所)

ネジ固定位置	奥行寸法A	a寸法目安	b寸法目安	扉合わせ
①または②	375mm未満	—	355mm	合わない
②	375-380mm	20mm	—	合う
	380-390mm	20mm	—	

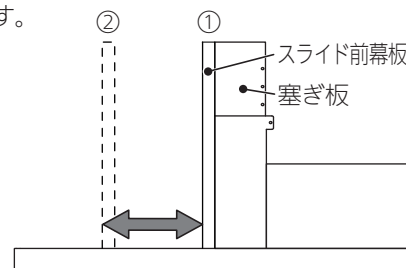


1)・2)



塞ぎ板下(左) ※ネジ固定位置①、②を選択する。

塞ぎ板のネジ位置を変えることでスライド前幕板の調整が可能です。



設置手順

3) 塞ぎ板上(左・右)を天井に当たる位置まで伸ばし、cまたはd寸法の上下2カ所を下表の[cまたはd寸法目安]を参考に同じ寸法位置に固定する。

3)-1 付属の丸木ネジ(3.8×12)で天井に固定する。
(左右各1カ所)

※各市・町・村の条例などにより、天井に固定できない場合は、塞ぎ板上側面(左・右)の最上部にあるe穴にて、側面のキャビネットや壁に固定してください。

3)-2 付属の丸木ネジ(3.8×12)で塞ぎ板上の最下部の穴を使用し、キャビネットや壁に固定する。(左右各1カ所)

奥行寸法A	c寸法目安	d寸法目安	扉合わせ
375mm未満	—	353mm	合わない
375-380mm	22mm	—	合う
380-390mm	22mm	—	

4) 塞ぎ板上に付属のすき間テープを貼る。

・ 塞ぎ板上の長さfにカットしてから塞ぎ板上前面(左右各1カ所)に貼り付ける。

※付属のすき間テープ1本の長さは、塞ぎ板上左右2本分の長さになります。

8-2. スライド前幕板の高さを合わせる

1) 付属のスライド前幕板の取り付け位置を確認する。
※機器の前面を化粧する板ですので、化粧面は十分に養生し、キズがつかないようにしてください。

2) 付属の引っかけ金具(左・右各1個)を付属のタップタイトネジ(M4×8：4本)で固定する。

⚠ 注意



禁止

電気ドライバー、インパクトドライバーなど絶対に使用しない
ネジが利かなくなります。

3) スライド前幕板の寸法B(左・右それぞれ)を決める。

・ 設置高さCを確認する。(左・右それぞれ測定)

・ 3mmのすき間を設け、寸法Bを決める。

B左=C左-3

B右=C右-3

調整可能高さC=410~695

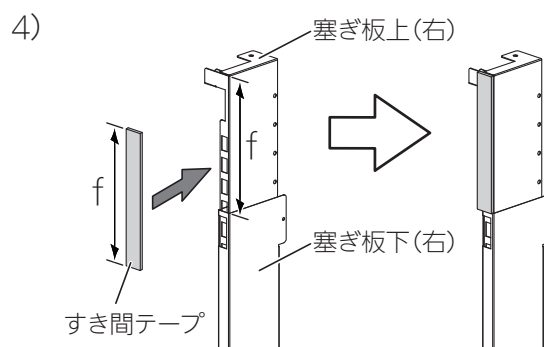
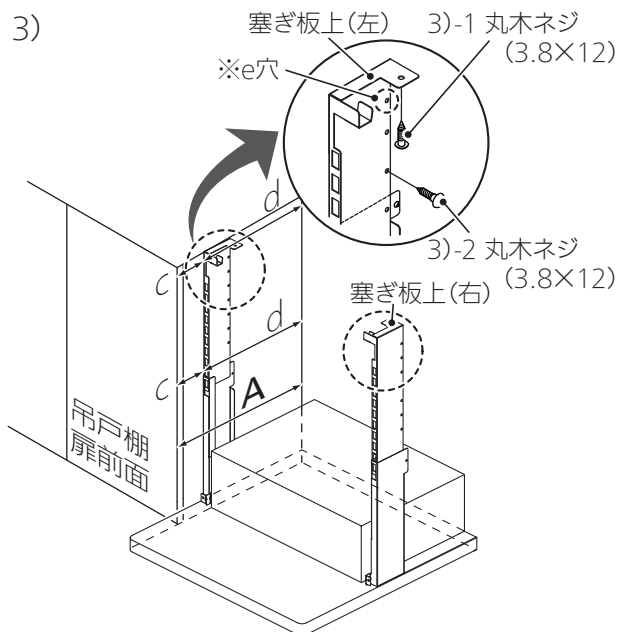
・ 別売部品の[長尺スライド前幕板]を使用する場合

B左=C左-3

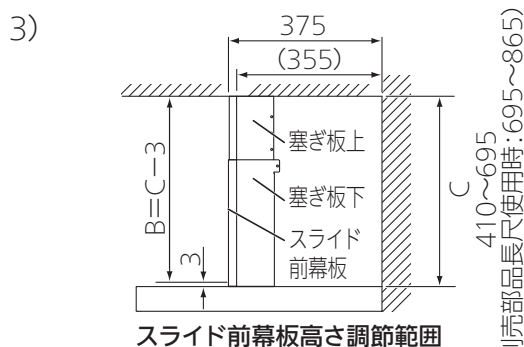
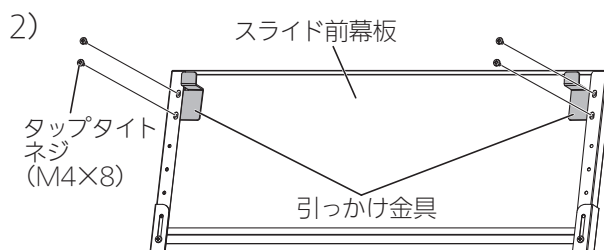
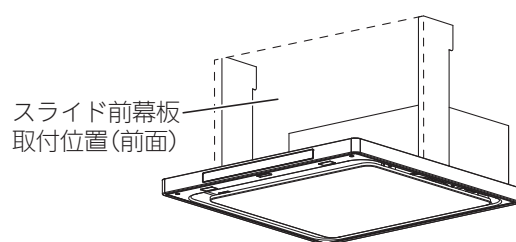
B右=C右-3

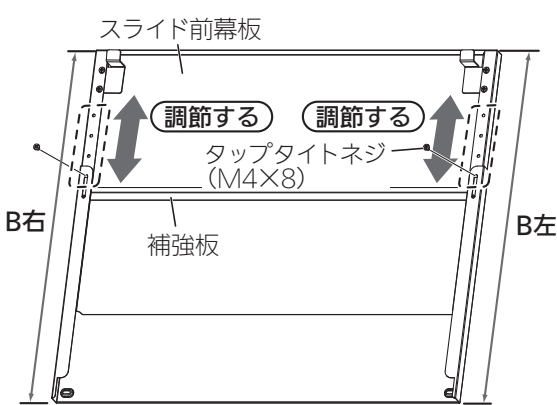
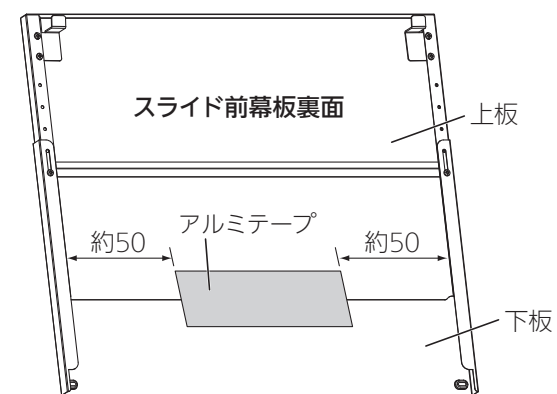
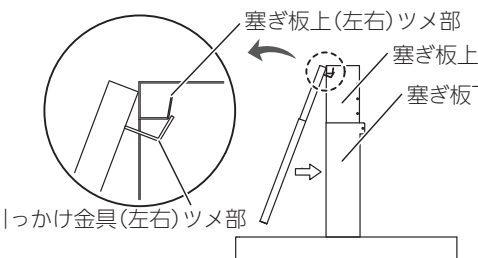
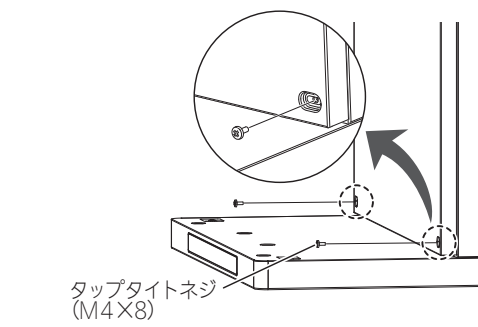
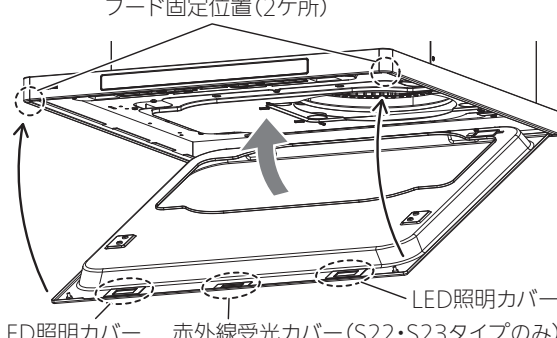
調整可能高さC=695~865

説明図



1) <単位：mm>



設 置 手 順	説 明 図
4) スライド前幕板を前幕板高さ寸法Bに固定する。 ・スライド前幕板と補強板を固定しているタップタイトネジ(M4×8：2本)を取り外す。 ・スライド前幕板をスライドさせ、左右とも前幕板高さ寸法Bに合わせる。 ・取り外したタップタイトネジ(M4×8：2本)で固定する。 ⚠ 注意 必ず守る ステンレスタイプには、保護シートが貼り付けてあるため、ていねいにはがす無理に引っ張ると変形やけがなどの原因となります。 禁止 電気ドライバー、インパクトドライバーなど絶対に使用しないネジが利かなくなります。 5) スライド前幕板裏面を固定する。 ・スライド前幕板の高さを合わせたあと、スライド前幕板裏面の上板と下板をアルミテープで固定する。 ※アルミテープは現地調達品です。	4)  5)  ※アルミテープの固定は、前幕板の両端から約50mmの位置で貼ってください。
8－3.スライド前幕板の取り付け 1) 固定された塞ぎ板上(左右)のツメ部にスライド前幕板上部の左右に取り付けた引っ掛け金具を差し込みスライド前幕板を取り付ける。 2) 付属のタップタイトネジ(M4×8：2本)にてスライド前幕板を固定する。 ⚠ 注意 禁止 電気ドライバー、インパクトドライバーなど絶対に使用しないネジが利かなくなります。	1)  2) 
8－4.フードの取り付け フードの固定ネジ(左右2カ所)を締め付け、フードを元に戻す。 ※フードをキズつけないようにしてください。 ※LED照明カバー、赤外線受光カバー(S22・S23タイプのみ)を押さえながら作業を行わないでください。部品外れの原因になります。	

設 置 手 順	説 明 図
9. オイルトレイ・整流板の取り付け 1) オイルトレイに浮きがないか確認する。 1)-1 両手でオイルトレイの左右の取っ手を持ち、化粧板の凹みに合わせて取り付ける。 ※凹みの段差に乗り上げないように注意してください。落下の原因になります。 2) 整流板を取り付ける。 2)-1 整流板を両手で支え、約20cm傾けた状態で、フードの引っ掛け部(奥2カ所)に整流板の引っ掛け部(奥2カ所)を手前に引いて、確実に引っかける。 2)-2 整流板の手前を上を持ち上げ、左右のストッパーにはまるまで押し込む。 お願い ・整流板が正しくストッパーに取り付けられないと、自動停止機能により、運転できません。 2)-3 整流板を軽く手で上下に動かし、確実に取り付けられていることを確認する。	1) 化粧板 オイルトレイ 2) 約20cm 引っかける 機器本体 引っかける 整流板 ストッパー

設置後の点検確認

◎チェックリスト

点検項目	点 検 内 容	参照ページ	チェック
設 置 条 件	機器の設置条件は適切ですか。	6～9	
製 品 の 固 定	機器本体の取付位置は適切ですか。	9・16	
	フード先端を押してもガタつきませんか。	16～17	
	機器の設置は水平になっていますか。	16	
電 気 接 続	交流100Vに接続しましたか。	18	
	アースターミナル付コンセントに接続しましたか。	10・18	
	アース線を接続しましたか。	10・18	
	コンセントや配線器具の定格を超える接続をしていませんか。	18	
	たこ足配線や延長コードで接続をしていませんか。	18	
排 気 ダ ク ト 接 続 部	排気ダクトとの接続箇所に排気漏れはありませんか。	17	
試 運 転	試運転の手順に従って作業を行ってください。	22～23	

試運転

◎試運転を行う前に、機器用の屋内ブレーカーを『入』にしてください。

◎次の手順で試運転の確認をしてください。

設 置 手 順	説 明 図
1) 整流板が正しく機器後方の引っ掛け部およびストッパーに取り付けられているか確認する。 お願い ・整流板が正しく機器後方の引っ掛け部およびストッパーに取り付けられないと、自動停止機能により運転できません。	1) 引っ掛け部 ストッパー 整流板

設 置 手 順	説 明 図																																																																																													
2) 操作部の各スイッチの動作を確認する。	2) <共通項目> <table><tr><th colspan="2">動作確認項目</th><th>チェック</th></tr><tr><td>照 明 </td><td>LED照明が点灯すること。</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">常時換気</td><td>常時換気ランプが点灯すること。</td><td></td></tr><tr><td>3秒長押し 常時換気が停止すること。</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">切</td><td>運転が停止すること。</td><td></td></tr><tr><td>3秒長押し ロックがかかって運転スイッチを受け付けないこと。</td><td></td></tr></table> <table><tr><th colspan="2">キッチンタイマー確認項目</th><th>チェック</th></tr><tr><td rowspan="2">電源『入』操作</td><td>タイマー表示部が消灯しているときに 一、+、▷/ロ いずれかのスイッチを押し、0:00が表示されること。</td><td></td></tr><tr><td colspan="2"></td></tr><tr><td rowspan="4">操作方法</td><td>カウントアップタイマー</td><td></td></tr><tr><td>タイマー表示が0:00のときに、▷/ロスイッチを押し、カウントアップが開始すること。</td><td></td></tr><tr><td>カウントダウンタイマー</td><td></td></tr><tr><td><タイマー設定方法> 一、+スイッチを押し、タイマー表示部の数字が増減すること。 <タイマー開始> タイマー設定後、▷/ロスイッチを押し、カウントダウンが開始すること。</td><td></td></tr><tr><td>電源『切』操作</td><td>カウントアップタイマー、カウントダウンタイマーを運転中に、▷/ロスイッチを押し、タイマー表示部が消灯すること。</td><td></td></tr></table> <S21・S22タイプのみの項目> <table><tr><th colspan="2">動作確認項目</th><th>チェック</th></tr><tr><td rowspan="3">運 転</td><td>中</td><td>排気が行われていること。 異音、振動がないこと。</td></tr><tr><td>強</td><td>排気が行われていること。 異音、振動がないこと。</td></tr><tr><td>弱</td><td>排気が行われていること。 異音、振動がないこと。</td></tr><tr><td>タイマー</td><td>押すたびに、5→15→30のランプが点灯すること。</td><td></td></tr></table> <S23タイプのみの項目> <table><tr><th colspan="2">動作確認項目</th><th>チェック</th></tr><tr><td rowspan="5">運 転</td><td>1</td><td>・運転・風量ランプが風量1・</td></tr><tr><td>2</td><td>2・3・4・5段階と同じ数の</td></tr><tr><td>3</td><td>ランプが点灯すること。</td></tr><tr><td>4</td><td>・排気が行われていること。</td></tr><tr><td>5</td><td>・異音、振動がないこと</td></tr><tr><td>タイマー</td><td>5・15・30のランプが点灯すること。</td><td></td></tr></table> <換気連動システム S22・S23タイプの場合> <table><tr><th colspan="2">調理機器の操作</th><th>チェック</th></tr><tr><td>『入』のとき</td><td>運転を開始すること。</td><td></td></tr><tr><td colspan="2">チェック後レンジフード側のスイッチを切る。</td><td></td></tr></table> ※調理機器側の操作で切ると5分タイマーが作動します。 3) <table><tr><th colspan="2">自動停止機能確認項目</th><th>チェック</th></tr><tr><td colspan="2">整流板をストッパー部から外した時に、</td><td></td></tr><tr><td colspan="2">運転スイッチを受け付けないこと。 (照明は受け付ける。)</td><td></td></tr><tr><td colspan="2">整流板をストッパー部に取り付けた時に、</td><td></td></tr><tr><td colspan="2">運転スイッチにて動作を確認すること。</td><td></td></tr><tr><td colspan="2">動作時、異音・振動がないこと。</td><td></td></tr></table>	動作確認項目		チェック	照 明 	LED照明が点灯すること。		常時換気	常時換気ランプが点灯すること。		3秒長押し 常時換気が停止すること。		切	運転が停止すること。		3秒長押し ロックがかかって運転スイッチを受け付けないこと。		キッチンタイマー確認項目		チェック	電源『入』操作	タイマー表示部が消灯しているときに 一 、 + 、 ▷/ロ いずれかのスイッチを押し、0:00が表示されること。				操作方法	カウントアップタイマー		タイマー表示が0:00のときに、 ▷/ロ スイッチを押し、カウントアップが開始すること。		カウントダウンタイマー		<タイマー設定方法> 一 、 + スイッチを押し、タイマー表示部の数字が増減すること。 <タイマー開始> タイマー設定後、 ▷/ロ スイッチを押し、カウントダウンが開始すること。		電源『切』操作	カウントアップタイマー、カウントダウンタイマーを運転中に、 ▷/ロ スイッチを押し、タイマー表示部が消灯すること。		動作確認項目		チェック	運 転	中	排気が行われていること。 異音、振動がないこと。	強	排気が行われていること。 異音、振動がないこと。	弱	排気が行われていること。 異音、振動がないこと。	タイマー	押すたびに、5→15→30のランプが点灯すること。		動作確認項目		チェック	運 転	1	・運転・風量ランプが風量1・	2	2・3・4・5段階と同じ数の	3	ランプが点灯すること。	4	・排気が行われていること。	5	・異音、振動がないこと	タイマー	5・15・30のランプが点灯すること。		調理機器の操作		チェック	『入』のとき	運転を開始すること。		チェック後レンジフード側のスイッチを切る。			自動停止機能確認項目		チェック	整流板をストッパー部から外した時に、			運転スイッチを受け付けないこと。 (照明は受け付ける。)			整流板をストッパー部に取り付けた時に、			運転スイッチにて動作を確認すること。			動作時、異音・振動がないこと。		
動作確認項目		チェック																																																																																												
照 明 	LED照明が点灯すること。																																																																																													
常時換気	常時換気ランプが点灯すること。																																																																																													
	3秒長押し 常時換気が停止すること。																																																																																													
切	運転が停止すること。																																																																																													
	3秒長押し ロックがかかって運転スイッチを受け付けないこと。																																																																																													
キッチンタイマー確認項目		チェック																																																																																												
電源『入』操作	タイマー表示部が消灯しているときに 一 、 + 、 ▷/ロ いずれかのスイッチを押し、0:00が表示されること。																																																																																													
操作方法	カウントアップタイマー																																																																																													
	タイマー表示が0:00のときに、 ▷/ロ スイッチを押し、カウントアップが開始すること。																																																																																													
	カウントダウンタイマー																																																																																													
	<タイマー設定方法> 一 、 + スイッチを押し、タイマー表示部の数字が増減すること。 <タイマー開始> タイマー設定後、 ▷/ロ スイッチを押し、カウントダウンが開始すること。																																																																																													
電源『切』操作	カウントアップタイマー、カウントダウンタイマーを運転中に、 ▷/ロ スイッチを押し、タイマー表示部が消灯すること。																																																																																													
動作確認項目		チェック																																																																																												
運 転	中	排気が行われていること。 異音、振動がないこと。																																																																																												
	強	排気が行われていること。 異音、振動がないこと。																																																																																												
	弱	排気が行われていること。 異音、振動がないこと。																																																																																												
タイマー	押すたびに、5→15→30のランプが点灯すること。																																																																																													
動作確認項目		チェック																																																																																												
運 転	1	・運転・風量ランプが風量1・																																																																																												
	2	2・3・4・5段階と同じ数の																																																																																												
	3	ランプが点灯すること。																																																																																												
	4	・排気が行われていること。																																																																																												
	5	・異音、振動がないこと																																																																																												
タイマー	5・15・30のランプが点灯すること。																																																																																													
調理機器の操作		チェック																																																																																												
『入』のとき	運転を開始すること。																																																																																													
チェック後レンジフード側のスイッチを切る。																																																																																														
自動停止機能確認項目		チェック																																																																																												
整流板をストッパー部から外した時に、																																																																																														
運転スイッチを受け付けないこと。 (照明は受け付ける。)																																																																																														
整流板をストッパー部に取り付けた時に、																																																																																														
運転スイッチにて動作を確認すること。																																																																																														
動作時、異音・振動がないこと。																																																																																														
3) 自動停止機能を確認する。																																																																																														
4) 初期の運転モードになっていることを確認する。 ※前回運転を記憶する機能が搭載されているため、初期設定に戻す必要があります。 運転モード 下記初期設定に切り替え、切スイッチを押して運転を停止する。 タイマー運転 運転が終了しないと記憶しない。 ※タイマー運転中に運転停止した場合は、タイマー設定は、初期設定のままです。 お手入れ運転 運転停止中にお手入れスイッチを3秒以上長押し、『ピー』とブザー音が鳴り、初期設定になる。																																																																																														
S21・S22タイプの場合	初期設定 風量:中 タイマー：5分																																																																																													
S23タイプの場合	初期設定 風量:3 タイマー：5分																																																																																													